

先輩からの応援メッセージ ~活躍する女性をめざすあなたに~

地域で活躍する女性の体験談やアドバイスをお届けします。

今回は、愛西市消防本部で火災や事故・災害からみなさんの安全を守り、女性消防士として最前線で活躍する平野沙帆さん(山路町)です。



問:消防士を目指したきっかけは?

答:人のためになる仕事をしたい、体力や運動能力を生かせる仕事につきたいと思ったとき真っ先に思い浮かんだのが消防士でした。

問:仕事をする中で、大変に感じたことは?

答:法律や条例に則った専門的な知識を問われることです。毎日分からないことだらけなので、先輩方や上司にたくさん教えてもらいながら、日々知識を蓄えるよう心掛けています。

問:仕事の原動力になっているものは?

答:使命感です。緊急時はもちろん予防課業務である事前に火災を防ぐという観点からも、市民の安全を守る存在になりたいという気持ちで、日々業務に取り組んでいます。

問:これから活躍する方や消防士を目指す方に一言。

答:消防、救助、救急、通信指令、火災予防、総務など消防の世界は想像以上に幅広いです。「自分らしさ」を発揮でき、性別や年齢に関わらず、安心して働き続けられる環境です。まずは、どのような仕事であっても目の前のことに一生懸命取り組み、一つ一つ糧にしていってください。

問:そのほかに伝えたいことは?

答:厳しいことも多いですが、やりがいのある素晴らしい仕事です。また、私たちの姿を見て笑顔で手を振ってくれる子どもたちの姿は私にとって力の源です。市民の皆様の安心・安全を守り、期待に応えられるようこれからも全力で業務に取り組んでまいります。

問 市民協働課 ☎(55)7113

2024年のNHK大河ドラマは『源氏物語』の作者・紫式部がモデル。京都府宇治市にある朝日山平等院が建立(1053年)された平安時代、紀元1000年頃、ひらがな、書道、短歌など日本文化が開花した時代のお話です。愛西市には当時を物語る明瞭な史跡はありませんが、古い史料に記載がある地名はたくさん残っていますし、平安時代の遺物も発掘されています。

代表的な例として、927年に編纂された『延喜式』には、愛西市にある諸鋏(諸桑)、宇太志(鵜多須)、由乃伎(柚木)神社が記載されており、当時から愛西市に人々が住んでいたことがわかります。一方で地名は残っていても現在地が特定できない場所もあります。その一つが古代の東海道馬津駅であり現在地は確定していませんが、町方町松川付近ではないかと歴史ロマンとなっています。町方町松川には古墳跡



諸鋏神社



由乃伎神社

問 市観光協会 ☎(55)9993

あいさい見聞録

その50 くせんねんの愛



ではないかと考えられている姥ヶ森神社があります。今年は、1000年前に想いを馳せてみませんか。